

2021年度 かしわマイ・フットパス推進事業

# 柏の葉エリアの景観美を体感する 小さな旅

～市民が育てる まちの景観～



本日は、私たちが企画した「かしわマイ・フットパス」にご参加いただき、ありがとうございます。

今日一日は、未来都市と豊かな自然が調和した柏の葉エリアの景観美を心行くまでお楽しみください。

2021年12月4日（土） かしわマイ・フットパス勉強会

【事務局：柏市住環境再生課、柏観光プロダクション】

共催：柏の葉アーバンデザインセンター

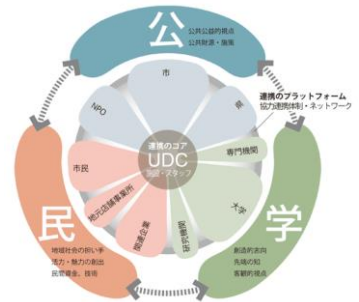
## 「柏の葉エリアのまちづくりと UDCK」

- 本日のフットパスツアーで巡るのは、つくばエクスプレス (TX) 「柏の葉キャンパス駅」周辺の地域であり、2005 年の TX 開業を契機に、土地区画整理事業を軸に大規模なまちづくりが進められている地域です。
- かつて、この地域には陸軍柏飛行場がありましたが、戦後は米軍の通信所が設置され、その後 1979 年の通信所が全面返還に伴い、188ha の跡地は、「緑を生かした土地利用」を基本方針として計画的に整備されることになりました。「柏の葉」という地域名は、この当時、市民からの公募により命名されたものです。

- 柏の葉エリアでは、「環境・健康・創造・交流」をテーマに「大学と地域の連携による国際学術都市づくり」が進められており、エリア内には現在、東京大学、千葉大学、国の研究所など最先端の研究教育施設のほか、大規模ショッピングセンター、県立柏の葉公園、高層マンションなど様々な施設が立地しています。



- このような柏の葉エリアのまちづくりは「公・民・学」の連携体制で進められていますが、2006 年 11 月に設立され、今年 15 周年を迎えた柏の葉アーバンデザインセンター (UDCK/Urbane Design Center Kashiwa-no-ha) が、そのプラットフォームの役割を担っています。



- 本日のフットパスツアーのテーマは「景観まちづくり」ですが、UDCK は柏市より景観整備機構の指定を受け、柏の葉エリアにおける質の高い都市空間の形成に向けた支援活動を行っています。



UDCK

- また、サブテーマを「市民が育てる まちの景観」としているように、柏の葉エリアでは、市民や市民団体が、「景観まちづくり」に限らず 様々な場面でまちづくりに参画している点も注目に値します。

## 「本日のフットパスコースとタイムスケジュール」



★UDCK（集合～コース案内）	9：30（集合）
① 柏の葉キャンパス駅周辺地区	10：10～10：45
② アクアテラス周辺地区	10：45～11：30
※ 昼休み	11：30～12：30
③ こんぶくろ池自然博物館	12：40～13：20
④ 県立柏の葉公園	13：30～14：10
⑤ 柏の葉一丁目景観重点地区	14：10～14：25
★UDCK（アンケート、振り返り～解散）	14：45～15：00（解散）





## ① 柏の葉キャンパス駅周辺地区

- TX 柏の葉キャンパス駅周辺地区には、東大柏の葉キャンパス駅前サテライト、KOIL、ホテル、ショッピングセンター、高層マンションなどが集積し、柏の葉の“顔”とも言えるエリアを形成しています。

- また、駅周辺地区一帯は、柏市景観まちづくり条例に基づく「景観重点地区」に指定されており、大学のある街の駅前にふさわしい景観形成を目指したまちづくりが進められています。



柏の葉キャンパス駅周辺  
景観重点地区 景観形成基準



## ② アクアテラス周辺地区

- キャンパス駅の北側に隣接している「アクアテラス周辺地区」では、T-SITE、KOIL TERRACE、KOIL MOBILITY FIELD など、柏の葉スマートシティを象徴する先端的な施設が続々と整備されています。
- また、アクアテラス周辺地区一帯も「景観重点地区」に指定されており、水辺空間を活かした緑豊かな街並みの形成が進められています。

- そもそも「アクアテラス」自体、本来は単なる「雨水を貯留する調整池」ですが、これを親水空間として整備するのは、景観まちづくりに貢献する画期的な取り組みであると言えます。



柏の葉2号調整池周辺  
景観重点地区 景観形成基準





街のシンボルサイン

「イノベーションキャンパス地区」への企業や研究機関の誘致を進めるための産業創出拠点



KOIL MOBILITY FIELD

開発途上のロボットやドローンなどのモビリティの開発サポート拠点

国道 16 号から柏の葉キャンパスへ誘導するシンボルサイン。公募コンペで選定



KOIL TERRACE



T-SITE

ライフスタイルを提案する書店を中心に、日常を豊かにするモノ・コトを集めた、アクアテラスに面した複合商業施設



アクアテラス

雨水を貯留する調整池を、市民が憩える親水空間へと再生。野外シネマ、夏祭りなど多様なイベントも行われている。



グリーンアクセス

高層マンション群の中を、キャンパス駅からこんぶくろ池公園方面へ抜ける歩行者専用の緑豊かな空間

コワーキングスペース、個室オフィス等を備えた、多様な人々の交流から新しいビジネスや価値を生み出すための創造拠点



KOIL



駅前広場

市民ボランティアも協力して、緑豊かな駅前広場を形成

ガード下の駐輪場を、下町情緒を感じさせる飲み屋街に改造



かじはな



かけだし横丁

### ③ こんぶくろ池自然博物館

- 柏の葉キャンパス駅周辺の近代的な街並みのすぐ裏手に、貴重な動植物が生息する森林と、その森林を育ててきた湧水「こんぶくろ池」「弁天池」が静かに佇んでいます。



- 江戸時代の小金五牧の内の高田台牧に位置するこんぶくろ池は、放牧馬の飲み水や灌漑用水として大切に守られてきた自然の湧水地であり、手賀沼の三大源泉池のうち唯一現存する湧水池でもあります。
- 現在、この公園は、「NPO こんぶくろ池自然の森」によって整備や管理が行われており、園路や柵の整備をはじめ、カブト虫観察会や竹を使った工作教室等のイベント等が行われています。
- また、その歴史性や神秘性からか、「柏のむかしばなし」の舞台としても度々登場しています。



NPO こんぶくろ池自然の森

### 柏のむかしばなし

【こんぶくろ池その1】  
「こんぶくろ」の名前の由来となる不思議な不思議なお話



【こんぶくろ池その2】  
こんぶくろ池の主の使い、という旅の僧が村人に伝えたこ





#### ④ 県立柏の葉公園

- 県立柏の葉公園は、「緑・スポーツ・文化」の拠点として、広大な敷地に芝生広場、多種類の樹木、花壇などの豊かな自然が楽しめるほか、総合競技場・野球場などのスポーツ施設や日本庭園などの文化施設があり、幅広い年齢の方々の憩いの場となっています。



並木通り



バラ園



ボート池



桜の広場



日本庭園



- 昔 この土地は旧帝国陸軍が使用していた軍用地でしたが、戦後、アメリカ軍・柏通信所に接収され、1981年に政府と千葉県、柏市との間によって締結された跡地利用に関する覚書に沿って、県と市の所有分が広域公園として整備されました。
- 現在 公園の管理・運営は、柏の葉公園管理グループ（千葉県まちづくり公社、千葉大学、(株)アイビックスの共同事業体）が行っています。

## ⑤ 柏の葉一丁目景観重点地区

- 柏の葉一丁目の戸建て住宅団地では、良好な景観を共有し、守り育てていくことを目指して、柏市の景観まちづくり条例に基づく「景観重点地区」の指定を受けています。
- 具体的には、住民合意の下で、緑豊かでレンガによる外構や屋根などのそろった街並みを維持することや、日照や通風などの良い、ゆとりある敷地使いとすることを基本方針に定め、敷地、建築物、工作物、色彩、駐車場などに関する景観形成基準を定めています。
- 実際に現地を歩いて見ると、統一感のある良好な街並みが形成されているのが分かります。



柏の葉一丁目景観重点地区  
景観形成基準



### 《2021年度 かしわマイ・フットパス推進事業について》

- かしわマイ・フットパス推進事業は、「景観まちづくりのPR」と「フットパスの普及による柏市民のふるさと意識の醸成」を目的に、柏市と市民活動団体が協働・連携して、柏らしいフットパスの普及を図る取組みです。
- 2021年度には、北柏コース（9月20日）と柏の葉コース（本日、12月4日）の2回のフットパスツアーを実施しています。

### 《2021年度 かしわマイ・フットパス勉強会 事務局》

柏市住環境再生課 ☎ 04-7167-2528

柏観光プロダクション ☎ 080-6630-1492（土屋）